

全 教	実教部NEWS	第110号 2018/12/25 発行
-----	---------	------------------------

教育環境における諸問題は尽きることがなく、私たち実習教員部においても例外ではありません。しかし、全国の仲間と情報の交換や運動を推進することで、今までに多くのことを勝ち取ってきました。これからも皆さんとともに歩み続けます。



実習教員部の要求実現と署名集約をすすめ 中央行動を成功させよう！

私たちは「実験・実習教育の充実と『実習助手』制度改革を求める署名」に毎年とりくんでいます。教育予算の大幅増額による実験・実習教育の充実や、実習教員の定数改善、「実習助手」の制度改革実現によってより充実した実験・実習がおこなえるように要求しています。昨年度に引き続き定数配置について「実験・実習が少人数(1グループ数人)でおこなえるように標準法を改善すること」を盛り込んでいます。

私たちの要求は全教実習教員部第30回定期総会の翌日、2月18日の中央行動で文部科学省へ届けます。要求実現をめざして、一筆でも多くの署名集約に奮闘しましょう。



今年度は、個人署名2万筆突破を目標に
全国の仲間とともに、熱意と勇気と行動で
署名集約に向けて頑張っていきましょう。

全教実教部 12月25日現在の到着分

個人署名：1万438筆、団体署名：233筆



定期総会を成功させましょう！ 実習教員部の運動前進をめざして！

◆全教実習教員部第30回定期総会開催 2/17(東京)◆

2月17日に「全教実習教員部第30回定期総会」が東京で開催されます。2018年度の運動総括や2019年度の運動方針をはじめ、各道府県の情報交換などをおこないます。

各組織や職場での運動総括や問題提起をまとめ、多くの仲間の声と要求を持ち寄って第30回定期総会を成功させましょう。

実習教員部の組織拡大も大切です。まだ組合に加入していない方を積極的に勧誘し、組織拡大をしましょう。全教のホームページにも「実習教員部 組合加入の呼びかけリーフレット」を掲載しています。



2018年度 ブロック交流集会の報告

中国・四国・九州交流集会 2018/8/18～19 (山口県 田布施町・岩国市)

山口県田布施町、岩国市において開催されました。大変日差しの厳しい中でしたが、17名の先生方が参加してくださいました。

今、国の情勢で憲法9条の改悪、「戦争法の発動」が差し迫る中での「海上自衛隊、岩国基地見学」は私たち、戦争を知らない世代が、いかに平和の尊さを学ぶことができるか、伝えることができるかを知る、貴重な見学会となりました。厳重な警備体制での見学でしたが、実際には部分的にしか利用できない海上自衛隊員の姿に、いかに米軍が脅威となっているか施設の規模や様子から伺うことができました。また、米軍士官のために建設された「ATAGO HILLS」は利用される様子も見られないばかりか、高校の敷地と隣接している実態もあり、その環境や通学路など生徒達への安全性が問題視されます。沖縄と同じように基地問題に揺れる地域なので、改めて平和の尊さを知る良い機会となりました。

2日目には、新しい試みとして集会会場を「学校」でおこなうという、日頃の実験実習の様子を見学していただくことより始めました。田布施農工高校では農業と工業がコラボする珍しい学校の特徴をもち、工業部門においては、施設設備の紹介や生徒たちがとりくんでいる、ロボット競技の見学をおこないました。また、全国的にも珍しい、日本酒醸造を学ぶ部活動、酒造蔵部(しゅそうくらぶ)において、先生方を対象に、ミニ学習会を生徒主催で開催しました。



終わりに、各県の情報交換をしました。呼称問題、部活動の引率問題をはじめ、現在皆さんが抱えている課題を共有し、また常任委員がそれらの課題を中央へ提言していく事を確認し、終わりとなりました。



参加者の感想として、「岩国基地の見学ですが、日本の中にアメリカがあることを実感しました。基地の広さ、軍用機のお腹にひびく重低音、日本とアメリカの狭間で働いている自衛官の方の話など実際に見聞きすると『軍事用』ということがひしひしと感じられました」「田布施農工高校の見学は『爽やか』の一言です。工業のロボットのデモも、いろいろな課題を連続でこなしており驚きました。それから酒造部です。生徒たちのプレゼンがすばらしかったのですが、それを自分たちで考えて組み立ててできるというのが日頃の先生方の指導の力を感じました」と、大変有意義な集会でした。盛りだくさんの企画で移動等大変あわただしい中での開催でしたが、中国・四国・九州ブロックとしてまた一段と結束できた集会となりました。

関東・甲越ブロック交流集会 2018/8/19～20 (茨城県・鉾田市)



茨城県鉾田市「トップサンテ大洋」で開催された集会には、埼玉高2名、群馬高1名、山梨高1名、横浜市高1名、新潟高1名、茨城高4名の参加でおこなわれました。

1日目は、挨拶の後、前日高教実教部副部長の戸井田先生より実教部運動の講演をいただき、各組織から呼称、部活引率、移動(広域転勤)、採用問題などが話し合われました。組織において抱えている問題はさまざまであり、また、組織拡大が近々の課題であり、共に頑張っていくことを確認しました。

太平洋間近のコテージに宿泊しましたが、東日本大震災によって傾いた別荘等がいまだに放置されていて震災の爪痕を実感してきました。

してきました。



2 日目は、JA 産直施設で農産物の視察（お土産購入：立派なメロンが並んでいました）の後、戸井田先生より笠間市にある筑波海軍航空隊記念館をご案内いただき、実際に使われていた建物（「永遠の〇」に使われたセットもありました）や号令台、遺品や撃墜されたゼロ戦の一部も展示されていました。平和を考える貴重な夏の日となりました。

また、来年度開催を埼玉県でおこなうことを確認し閉会となりました。

北海道・東北ブロック交流集会 2018/10/13~14 (秋田県・秋田市・男鹿市)



秋田県内外から 9 名の参加がありました。

1 日目の学習会では、講演「実習教員部運動の歴史とこれから」と題して、全教実習教員部事務局次長の藤元広明氏から、「今の実習教員の先駆けとなる職がすでに戦前にあり、戦後、職名『実習助手』が誕生したこと」、「戦後の高度経済成長を支えるため、工業立国日本の政策として『実習免許』が新設され、教員不足解消のために実施されたのが『実習助手』の教諭任用の始まりであること」、「学校教育法・高等学校設置基準・教育公務員特例法に位置づけられる『実習助手』の法的整備の矛盾点、構造改革攻撃による実習教員への攻撃と、いまを乗り切るために私たち実習教員がとりくむべきこと」

などが、参加者との学習形式で明快に語られました。

討論では、実習教員の部活動引率や校務分掌の問題、各県の実習教員部運動の到達点と要求の情報交換、学校における労働安全衛生管理体制についての問題など、少人数の参加者でありながらも熱心な情報交換がなされました。

夜の夕食&懇親会では、北海道・東北ブロックの実習教員の組織



拡大や、次年度北海道で開催される全国学習交流集会へのとりくみについて意見交流が深められました。

2 日目は、男鹿半島にあるパワースポット真山神社を訪れ、「なまはげ」の由来や郷土文化を学んだり、地元の方から残留農業による子どもの成長発達への影響について講演をいただきました。秋田高教組実習教員部の皆さん、心温まる企画をありがとうございました。



北陸・中部・東海ブロック交流集会 2018/10/27~28 (長野県・安曇野市)

今集会は、絶好の秋晴れにも恵まれ、例年この時期におこなわれている長野高教組実習教員部の学習交流集会も併せての開催ということもあり、岐阜・愛知高・富山高・長野高・福井高・名古屋市高から二日間で、のべ65名の参加でおこなわれました。また、今集会には全教実教部担当書記の寺浦さんも参加され交流を深められました。

1 日目は、開会行事の後、長野県木曾青峰高校の唐澤靖先生から自身が参加された「カリフォルニア・ワイン研修報告」の研修報告をしていただきました。

その後は、各組織の紹介・日頃の実践報告、夕食交流集会



へと進み、終始和やかな雰囲気の中初日を終えることが出来ました。

2日目は、三つのグループに分かれて分散会、「今年度の各県・市交渉の様子」「二級昇任」「採用選考・対策講座」「被服貸与」「認定講習」「部活動引率」「免許更新講習」などについて、教科の垣根を越えた「学び合い・語り合い・集い合い」が、予定時間をオーバーするほどに熱心なものとなりました。

集会の終わりにあたり、開催県の長野高教組実習教員部・川越部長が今集会総括の挨拶をされ「子どもたちを中心に据えた学校教育がしっかりできているかをいつも心がけ、子どもたちのための授業づくりを念頭において、これからの実験・実習に力を注ぎながら、組合活動へも元気に参加しましょう」と述べられ、集会を締めくくられました。

その後、北陸・中部・東海ブロック集会恒例の次年度開催地の富山高教組実習教員部・舟川部長へ集会旗の引き継ぎセレモニーがおこなわれ、全日程を終了しました。

今後も、北陸・中部・東海ブロック集会が未永く開催されること、組織を超えた横のつながりがよりいっそう強くなっていくことを祈念し報告とさせていただきます。



近畿ブロック交流集会 2018/11/24~25 (大阪府・大阪市)

今集会には、滋賀高1名、京都高3名、兵庫高1名、和歌山高2名、大阪高9名の参加でおこなわれました。

1日目は、あいさつの後、各組織の現在の様子が報告がされました。特に滋賀と京都の呼称問題がいっこうに進まない現状を、交渉の様子と共に報告されました。

その後、バスに乗って大阪・鶴橋のコリアンタウンへ移動し、キムチ作り体験をしました。この日は3連休のなか日とあって、いつもよりコリアンタウンは人であふれていました。

キムチ作りでは、オムニ(おばさん)からキムチにまつわる話を聞いたあと、オムニの指導のもと、白菜の葉っぱ一枚ずつにヤンニョムを塗りこんでいく作業をみんなでワイワイとおこないました。ヤンニョムを塗りこんでいく作業は簡単なようで難しく、ヤンニョムの塗り加減で、漬けあがりが変わるので、大変難しかったです。



夕食はチヂミに特徴のある韓国料理の店で「マシソヨ!(おいしい)」とみんなで言いながら、夕食交流しました。

2日目は、滋賀の松本先生が学校で実践されている木材の端材を使ったボールペンや万年筆作りについてのレポートの発表があり、次回以降の近畿ブロック学習交流集会でも、「体験してみたい!」という意見もでした。

そして、最後に来年の担当県である和歌山から来年の日程と開催地の発表があり、閉会となりました。実はその日は大阪マラソンがおこなわれていたので、有志で大阪マラソンの応援にいきました。テレビで見るより迫力満点のマラソン風景にびっくりしたり、ランナーのそれぞれちょっぴり仮装したウェアを見ながら楽しんだり、一緒に見に行った先生のお友達が走っているということで探してみたり、楽しいひと時を過ごしました。

今、近畿ブロックは、採用がストップした組織が多く、また、なかなか運動が前に進みませんが、これからも学習交流会を続けていけたらと感じました。

実教部の各集会で



春募集! はじまります!

くわしくはパンフレットをご覧ください

総合共済 全国の仲間がいるからできる助けあい	生命共済 万一、病気やケガで障害が残った場合にも安心の後遺障害給付	医療共済 月々わずか80円で先進医療特約がつきます	傷害共済 国内外のケガによる通院にスピーディーな給付	地震特約付帯 火災共済 火災はもちろん、自然災害にもワイドに補償
年金共済 未来の生活をまもるために	くらしの賠償責任共済 日常生活における法律上の賠償責任から家族をまもる	教職員賠償責任共済 困ったことがあればまずはご相談を!	全教自動車保険 教職員のあなたに選んでほしい保険です	賃貸の方へ借家人賠償責任特約、できました

全教共済

